



発行 宮崎県立高鍋高等学校 同窓会
宮崎県児湯郡高鍋町 大字北高鍋4262
TEL 0983・23・0005
FAX 0983・23・5096
URL http://www.narumigaoka.jp/

母校を想う

高鍋高校同窓会「鳴海ヶ丘会」会長 増田 秀文



鳴海ヶ丘会会員の皆様におかれましては、ますます御健勝で御活躍のこととお喜び申し上げます。また、平日頃から同窓会活動に御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

平成23年の恒例のOB祭は「奏(かなでる)〜みんなひとつ」というテーマのもと、木之下健太郎実行委員長を中心に昭和63年卒の皆様が担当をされました。東日本大震災における被災者支援活動にも取り組まれ、参加費の一部を義援金とする「チャリティーゴルフコンペ」、「高鍋高校創設までの歩み」のDVD放映、北野大氏の「北野家の訓え」という演題での記念講演、そして大懇親会とOB祭が盛大に開催をされました。素晴らしい企画、運営をして頂きました昭和63年卒の皆様方に感謝を申し上げます。

ある新しいOB祭を期待しております。この度「鳴海ヶ丘会」では、高鍋高校卒業生を対象に育英会奨学金制度を実施することと致しました。この制度は、明倫奨学金として、文武両道を目指し、人物、学力共に優れた卒業生であつて、経済的理由により修学が困難である者に対し学費の給付を行なうものであり、社会に有為な人材を育成することを目的としております。これは今年の卒業生から実行していく予定であり、同窓会として少しでも学校に寄与できるものになればと考えています。この明倫奨学金の基金は、その目的に賛同を頂ける有志の方々の寄附金によって賄われるものでありますので、多くの同窓生の皆様に御賛同頂き、御支援を賜れば幸いです。又、今年高鍋高校は創立90周年を迎えます。11月17日(土)に記念式典と記念事業として在校生も参加して頂いてのモーターボートの演奏会、明倫堂記碑および清観公碑の解説板の作成等を予定しております。また記念祝賀会も計画しておりますので、ぜひ会員皆様方にも御参加下さいませようお願いします。これからも同窓会会員相互の親睦はもとより学校、地域に役立つ同窓会として活動を行なっていきたいと考えています。同窓生皆様方の更なる御支援、御協力を宜しくお願い致します。

平成二十四年度OB祭

事務局長 松浦 郁雄

平成24年度のOB祭を担当させて頂いた松浦郁雄です。昨年七月にOB祭の準備委員会を立ち上げ、十月の同窓会において、実行委員会として正式に承認をいただきました。その後の私たちの活動として、一月の同窓会を開催しました。当時の先生方や同窓生と楽しいひとときを過ごし、同窓生の温かさを感じるとともに、OB祭へ向けての結束を深めることができました。また、名古屋・福岡・宮崎各支部における総会等に出席し、高鍋高校の歴史や先輩方の絆の深さに感銘を受けているところです。

「元(はじまり)〜故郷から元気発信」が平成二十四年度OB祭のテーマです。私たちが平成元年の卒業生であることから「元(はじまり)」をテーマに決定しました。また、近年県内外で多発した災害等により、全国的に悲しい思いをしており、このような時代だからこそ、故郷から元気発信できるようなOB祭にしていきたいと考えております。私たち同窓生一同は、伝統のOB祭成功に向け、一丸となって精一杯取り組んでまいります。今後とも、皆様方のご指導ご鞭撻ご支援の程よろしくお願ひ申し上げます。

Table with 5 columns: No., Position, Name, Office, Remarks. Lists members of the 2024 OB Festival Executive Committee.

同窓会育英会表彰者

- List of award recipients: 黒木 俊介 (303), 大地 (304), 古藤 誉人 (306), 黒木 美賀 (307).

修学旅行を終えて

2年学年主任 原田 薫

まずは一人の負傷者もなく、しっかりと4泊5日を過ごせたことに感謝。入学以来、やんちゃで時間厳守等もできず集団行動が心配された2年生であったが、特に声を荒げるシーンもなく楽しく、1年次の宿泊研修からすると成長していることを実感した旅であった。スキーに關しても、直前まで温暖な天気が続き雪不足が心配されたが、直前の寒波のお陰で、無事スキー研修を行うことができた。初日はうまく滑れず泣き言を言っていた生徒たちも、2日目には随分とうまくなり、もう一日滑りたいとまで言い出すほどとなった。友人、先生方の根気強い励ましに感謝し「あきらめなければ出来る」「為せば成る」を実感した研修であった。さらに、日光東照宮や浅草では日本古来の建造物に触れ、歴史や文化の重みを感じ、TDLでは「夢」



24年度センター試験を振り返って

高鍋高校進路指導主任 末吉 昭夫

去る1月14日(土)と15日(日)の両日、震え上がる寒さの中、本校生徒189名が大学入試センター試験に臨んだ。試験場が昨年までの宮崎公立大学から宮崎産業経営大学に移動した。今回は下見を兼ねて12月23日(金・祝日)に前年度実施会場の宮崎公立大学で模擬試験を実施し、その後宮崎産業経営大学で下見を行った。そのお陰で、生徒は受験会場の雰囲気や机むきこができた。本番は、特に大きな混乱もなくいい状態で、国立公立大学合格に向けての第一段階をクリアし出願者総数は5,533,377人であった。総合点の予想は昨年より理・文系ともに10点ほど伸びており全体的に強気の出願が予想される。経済不況の影響下、昨年同様医療看護系や教育学部など資格取得を目指す学部が人気を集中しそうだ。本校生も土、日を返上して三者面談を実施。2月1日、入試の願書提出に向け緊張感が進路室に漂っている。これから二次試験本番の2月25・26日に向け、生徒達の健闘を心から期待している。頑張れ、受験生!!



米沢興譲館高等学校との学校間交流

生徒会執行部 北原 春華, 東本 新太郎, 河野 華寿美

高鍋高校生徒会執行部は、学校間交流の一環として昨年の10月19日(土)・21日(日)の三日間にわたり姉妹校である山形県立米沢興譲館高校を訪問しました。この活動は平成12年から始まった交流行事で、両校の生徒会役員が1年ごとに互いの高校を訪問しつづけていること。「全校生徒での交流をしよう」というテーマのもと話し合いをして、その結果、今年度は全校生徒で手紙を交換する活動を行うことができました。米沢市の歴史や文化に触れ、高鍋町との違いを体験して充実した3日間を過ごすことができました。また、興譲館高校の自由な校風の中にある生徒一人一人の自立心に驚かされ、高鍋高校との違いに驚かされるばかりでした。最後まで愛のこもったおもてなしをしてくれ、私たちの心に残る交流になりました。来年は興譲館高校の生徒自治会が高鍋高校に来てくれるので、私たちも心からのおもてなしをしたいと思っております。



地域学習について

地歴公民科 甲斐 讓二

今年度の地域学習は、昨年十一月八日(火)・十日(木)に実施されました。今年度から時間が短縮されたため見学先を変更し、新しく西都原古墳群と西都原考古博物館を見学先に組み入れられました。西都原古墳群は時間の都合で車中からの見学でしたが、クラスによっては昼食を古墳の周りでとることができ、生徒間の交流にも繋がったようです。西都原考古博物館の展示は工夫が凝らされており、生徒は収蔵品を直接触って南九州の歴史に想いを馳せていました。黒木本店(酒造)と石井記念友愛社、高鍋町歴史資料館でも生徒達は説明者の話に真剣に耳を傾け、地域の歴史や文化への理解を深めていきました。ご多忙な中を説明していただいた見学先の皆様、引率の一年学年団の先生方、ご協力本当にありがとうございました。



ノーサイドの笛が鳴るまで

高鍋高校ラグビー部監督 山本 巧

全国予選の決勝にすら進めなかつた敗戦から一年。背水の陣で臨んだ新人戦、総体と県内では無敗。九州大会でも久しぶりに1勝するまで、失いかけて自信を少しずつ取り戻しつつも常に「勝つて兜の緒を締めよ」と言い続けてきました。その指導を素直に受け入れた、厳しい練習に耐え、2年ぶりの花園行きへの練習に耐え、力を出し切れたのも支えて下さった全体的な方々のお陰だと深く感謝申し上げます。予選の決勝は大方の予想が高鍋有利というものでした。しかし、国体の練習や各大会、他チームの情報などからも、日向高校の選手の能力は高く、必ず秋には盛り返してきます。絶対に侮れないとは常に頭から離れられません。選手たちも追いかけています。実際、新人、総体と点差は離れていたものの日向高校は最後まで決してあきらめませんでした。照準を決勝に合わせることに、日々練習に打ち込んだのも事実であり、ライバルの存在が自らを高めることには欠かせないと思います。昨年の経験のなさが響いているのか、勝たなければというプレッシャーなのか完全内容が一年回りの伸び幅でいえば、日向高校が上であつたことは認めざるを得ません。それでも残り30秒のワン



各支部からの報告

福岡支部総会

福岡支部事務局 原 誠子

福岡支部の総会は11月26日にク...

今回の総会出席者は前回と同じ...

名古屋支部総会

名古屋支部事務局 福本 秀和

平成23年11月5日(土) 正午に...

来賓挨拶で増田会長からは、新設...

宮崎支部総会

宮崎支部長 緒方 克則

平成22年度から、前増田支部長の...

宮崎地区では、母校の支援と卒...

本年の同窓会は、平成23年11月...



寮会長、西立野学校長、同窓会の猪...

増田会長の挨拶の中で、本年度...

最後は、出席者全員で肩を組み...

川南支部総会

川南支部長 宮崎 吉敏

平成23年7月の役員会に於て前...

高鍋支部総会

高鍋支部長 山本 邦紘

11月22日に高鍋美術館で高鍋支...

これは受けて23年1月の同窓会評...

本年は、高鍋高校昭和47年卒業で...

現役諸君には、一度しかない高...

事務局からのお知らせ

高鍋高校は、今年創立90周年を迎えます...

寄付のご案内

平成22年度OB祭実行員より...

部活動実績

Table with columns: 大会名, 部名, 種目, 個人名, 成績

なんきんはぜ

母校に赴任して、八回目の春が...

高鍋高校を卒業し教師となっ...

かつて、ある会社の社長さん...

卒業する三年生、進級する一...

明倫奨学金報告とお礼について

同窓会事務局 猪股 司

会報50号のご案内いたしました...